

1 “福利厚生ネイル” がもたらす介護支援の心地よい変化

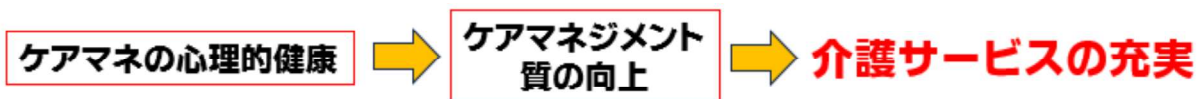
～未来の介護はここから始まる～

- 2 愛知県知多郡阿久比町
- 3 介護相談ほたる
- 4 主任介護支援専門員
- 5 平木恵理

【発表の目的】

介護支援専門員（通称：ケアマネ）には対人援助技術スキルだけでなく、第一印象も非常に重要であると考えます。

利用者のニーズや年齢層が多様化している中で、清潔感だけでなく、介護、福祉業界で従来「ご法度」とされてきた【ファッションやおしゃれ】を【清潔感プラスα】で取り入れ、ジェルネイルアートを福利厚生として活用する事で得られた効果【介護支援専門員（ケアマネ）の心理的健康の促進とケアマネジメントの質の向上と介護サービスの充実】について発表を行います。



【背景】

介護保険サービスを利用する際の初めのステップは、ケアマネによるインテーク（初回面接）およびアセスメント（情報収集）です。居宅介護支援事業所との契約が成立し、1人のケアマネが担当する中で、単に利用者の困りごとだけでなく、家族背景や生活歴など、様々な情報を収集する必要があります。なぜならば、このケアマネによるアセスメントや課題分析が不十分であると、いくら地域に優れたサービス事業所が存在していても利用者への適切な提案が出来ないからです。

介護業界の仕事は真面目でありつつも、きつく、辛く、ストレスがたくさんあり、大変な仕事であるとの印象が広く共有されてしまっている現状があり、

中でも「ケアマネってなに？」「偉い人が来たの？」「この人の言う事を聞かなければ介護してもらえない」など、勘違いや間違った情報で、ケアマネとの相談に緊張感を覚える利用者や家族も少なくありません。

また、介護業界内でも、「ケアマネは大変」というイメージで新たな成り手が減少傾向にあります。

ケアマネのイメージ



【方法】

介護業界では、ネイルアートに否定的な考えを持っている方も多く、ネイルで利用者を傷つけない事、仕事に支障が出ない事を目的に一定のルールに沿って福利厚生でネイルを実施しています。

・ジェルネイルOKの理由の明確化と社内で共有を図る。

→ 自爪に厚みを持たせることで、割れや欠けを防ぎ保護できる。

→ 先端が丸みを帯び、利用者に不意にぶつかっても皮膚を守れる。

・ハンドネイルかフットネイルのどちらかを選ぶ。

ハンドネイル：左右一本のみアートOK。他8本はカラーもシンプルにする。人によって感じ方が違うため、派手かな？と判断に迷うときはNG。

フットネイル：アートし放題。

・年間を通して法人が提携ネイリストの予約枠を確保し、職員の希望日時を踏まえ、

社内の担当者が毎月予約日時を調整し、おおよそ月1回の施術を受ける。

・法人内で、職種は問わず、勤続1年以上の職員が対象

(ネイルを希望しない社員に不公平が無いよう、旅行券や健康診断のオプション、家事代行掃除サービスなど、ほかにも様々な福利厚生を選択する事が出来る)

**福利厚生なので
費用は法人負担**



**ルール内で
楽しく平等に実施**



(実際のネイル写真)

(

【結果】

ケアマネが福利厚生でジェルネイルを施すことによって得られた効果は、以下の通りです。

・自己肯定感の向上

常に視界に入る手元が美しく整っている事で、自分に対するポジティブな評価に繋がり、自己評価や自尊心の向上、満足感が高まり仕事に対するモチベーションがアップした。

・リラックス効果

手や爪のケアを受けることで、リラックスした状態になり、心地よい体験ができストレスの軽減につながった。

・セルフケアの促進

日常的な手入れの習慣を怠らなくなり、自分の身体に対するセルフケアの意識が高まった。

・視覚的な印象の向上

新規ご利用者・ご家族、特に癌末期や要介護度が高く複合的な課題があり、面談前に大きな不安を抱えていたというケースから、明るい雰囲気ですぐリラックスして話しやすいと言われるようになり、情報を共有しやすくなった。

・エンパワーメント感（自己決定感や自己効力感）の向上

決められたルールの中でネイルアートを選択する事が、自身の外見やスタイルに対する選択や自己決定の機会が増え、エンパワーメント感（自己決定感や自己効力感）が向上し、ケアチームの構築や連絡調整業務において適切なリーダーシップの発揮につながり、利用者の自己決定を尊重できることにつながった。

・パソコン作業の効率化

ネイルカラーの使用によりパソコン作業に対する「倦怠感が軽減」、ストレスによる脳血流の増加を抑え、「心理的ストレスを軽減」させる効果がある。
(2022年メナード化粧品株式会社調査より抜粋) 記録入力、書類作成の負担感が減少した。

【結論】

ケアマネが清潔感プラスαのおしゃれを取り入れ、楽しさと健康を重視した働き方を導入することで、ケアマネ自身が楽しく働くことだけでなく様々な効果が得られました。

○インテーク、アセスメント場面がスムーズで有益なものとなり、

→ 信頼関係の構築や利用者が自立した生活を送るためのケアプラン立案が行いやすくなった。

→ 利用者がより満足できる介護サービスを受けられることにつながった。

★介護の中核的存在である介護支援専門員（ケアマネ）の心理的健康の促進を行う事で、ケアマネジメントの質が向上し介護サービスの充実につながりました。